

以下、45° を風上に向けてセーリングできる最大切り上がり角度として想定する。

セーリング中にスキッパーがコースを定めると、自動的にそのときの風の吹いてくる方向と相対角度が決まる。

セールボートの進行方向と風向きを示す用語が「ポイント・オブ・セール」であり、セーリング中はこの用語を使って航行コースと風との関係を示す。

● 用語と定義

クローズホールド (Close-hauled) 風に対して45°

クローズリーチ (Close-reach) 風に対して45° ~90° の間の全て

ビームリーチ (Beam Reach) 風に対して90° すなわち真横(アビーム)から風を受ける

ブロードリーチ (Broad Reach) 風に対して90° ~135° の間の全て

ダウンウインド (Down Wind) ビームリーチの終わりから180° まで

セーリング・バイ・ザ・リー (Sailing by the lee) ダウンウインドでセーリング中に風がブームの出ている側から入る状態
(セーリング・バイ・ザ・リーはアクシデンタル・ジャイブ(ワイルド・ジャイブ)の原因にもなり、危険である。)

ポイント・オブ・セール自体はセールのトリム状態から導き出されるものではない。

セールトリムはみかけの風に応じてクルーが行い、トリムの最終判断(正確度)はスキッパーが下す。

チャンネルとゾーン (Channels And Zones.)

ポイント・オブ・セールと風・船の関係をわかりやすくするためにチャンネルとゾーンを設定する。
セーリングパターンの呼称はヨットがどの方向から風を受けているのかによって決まる。
重要なことは、船に対する見かけの風の相対運動方向との関係である。
絶対方位関係での解析は、運動盤解析により求められる。

